

令和7年度「#あおばな in 弘前高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和7年11月17日（月）10：40～12：00

○場所：県立弘前高等学校 第1体育館

○参加生徒：1学年 240名

＜生徒との意見交換＞

知事と生徒の皆さんが以下の内容について対話しました。

- ①農業の生産力向上
- ②空き家活用による若者のUターン支援
- ③若者の県内定着に向けた県内の仕事づくり
- ④主体的に学ぶことの重要性
- ⑤観光地の混雑対策と広域周遊の促進

※知事から生徒の皆さんへのコメントの一部を紹介します。

- ・物事を当事者意識や自分ごととして考えることが大切。人を頼りにするよりも、自分で自分の道を切り開いていける大人になってほしい。
- ・既にある職に就き、ベルトコンベアのように仕事を続けることが幸せかどうか、それが他の人たちを幸せにすることなのかということをよく考えてほしい。私が皆さんに期待したいのは、自分自身で新しい仕事を生み出すということ。
- ・日々の授業や勉強はしっかりと大事にしてほしい。ただ、与えられる学びには限界があるので、自分で獲得した学びにこそ価値がある。高校生は、少し外に出てみるとボランティア活動などたくさん求められている。そのような経験も通じて、人間性を高めていくことが大事。
- ・私自身が一番大事にしているのは、皆さんの話をよく聴くということ。聴くことがリーダーシップの源泉になる。正解が見えない時代でも、多くの人が納得する「納得解」はある。皆さんが進学や就職などで迷うときは、周囲の人たちとの対話を重ねて納得できる答えを見つけてほしい。そしてそのことがきっと青森県の発展に繋がっていくと信じている。

